

手漉き和紙保存会に寄贈 ～和紙の漉き道具～

4月18日(水)、大津秀夫さん(西吉地)が、約80年前に和紙づくりに使われた「漉き舟」などの道具を手漉き和紙保存会に、寄贈されました。

寄贈されたのは和紙の原料コウゾの繊維を水に溶かす水槽「漉き舟」や繊維をすくい取って平らにならすのに使う竹製の網「簀」とその木枠「桁」で、使用可能な完全な形で見つかったのは約20年ぶりです。

大津さんは「桁に祖父の名前が書かれており、捨てるには惜しいと思って寄贈した」と話され、保存会の荒木忠孝副会長によると「これだけ保存状態がいいものは滅多になく、特に極細の竹ひごで編まれた簀は職人でないと作ることができず、とても貴重なもの」と話されました。



紙漉き道具の寄贈

和水町スポーツ推進委員退任表彰

長年、町のスポーツ推進委員(旧体育指導委員)として、町のスポーツ推進にご尽力いただいた北原正司さん(下平野)、高巢久美子さん(上久井原)が退任されました。

北原委員は平成2年から22年間、高巢委員は平成8年から16年間、それぞれ委員として活躍されました。

表彰式は、各種行事の思い出話に花が咲き、和やかな雰囲気で行われました。

お二方とも、「委員は退職しますが、これからも町の行事には参加者として積極的に参加したい」とおっしゃっていました。



左から北原正司さん、高巢久美子さん

地域を変えていく新しい力 ～和水町地域おこし協力隊員紹介～

5月7日(月)、地域おこし協力隊員として、柳原志保さん(前住所:宮城県多賀城市)に坂梨町長から委嘱状が交付されました。

今年は3名体制となり、今後、活動も本格化していきます。まずは、和水町の定住施策の一つとして、空き家対策に係る調査・検討をはじめ、地域づくりに寄与する活動を行います。町民の皆さんの暖かいご支援をお願いします。

和水町では、総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用して、都市部に住む健康で地域協力活動に意欲と情熱を持つ人材を、地域社会の新たな担い手として受け入れ、和水町内で地域活性化活動に取り組んでいただくこととしています。



柳原志保さん

大きくなあれ ～ひまわり(町の花)の種まき～

5月17日(木)、菊水ひまわり園の年長児(菊組)・年中児(藤組)と農業委員18人に協力していただき、町内3箇所とポット鉢にひまわりの種まきをしました。農業委員の皆さんに種のまき方などを教えてもらいながら、園児たちは「大きくなあれ」と1粒1粒に願いを込めながら種をまいていました。

このひまわりの種まきは、町内の耕作がされていない遊休農地などの解消や景観美化を目的として取り組んでいるものです。8月頃には、大きなひまわりの花が咲く予定です。

(種まき箇所:①江田船山古墳公園入口、②菊水ひまわり園とガソリンスタンドの間、③ニシヨリ前)



「総合の部7連覇」達成 ～第67回玉名郡民体育祭【陸上競技】～

5月13日(日)、玉名郡民体育祭陸上競技が玉東町営グラウンドで開催されました。

和水町チームは、各種目で優秀な成績を収め、見事総合の部7連覇を達成しました。

選手・役員としてご参加いただきました皆様のご協力に感謝申し上げます。

各種目の優勝者は次のとおりです。

男子の部

100m (40代)	鍋島忠隆さん
100m (50代)	池田誠也さん
400m (29歳以下)	西川洋智さん
1500m (29歳以下)	武田侑馬さん
1500m (40代)	大山道弘さん
2000m (70歳以上)	坂井征孝さん
3000m (29歳以下)	福原雅史さん
走り高跳び (29歳以下)	石川秀幸さん
砲丸投げ (30代)	松村和樹さん
砲丸投げ (40代)	荒尾寿文さん
円盤投げ (50代)	大城戸正剛さん

女子の部

100m (35歳～49歳)	大山三保さん
走り高跳び (34歳以下)	諸岡 薫さん
砲丸投げ (35歳～49歳)	齊土真紀さん

男女混合

400MR (30歳代、40歳代、50歳代、60歳代or女子) 田上康太さん、鍋島忠隆さん、池田誠也さん、大山三保さん



3,000mで首位を走る福原さん